



高校生たちと一緒に考える国際理解オンライン講座

きみたちに未来を! エネルギーをいつまでも使い続けるために

ゲストスピーカー

ふくもとまさお (ジャーナリスト)



プロフィール

ドイツ・ベルリン在住。1985年から在独、最初の6年は東ドイツ滞在ジャーナリスト、ライター。独立系情報発信サイト『フクシマ放射線テレックス』をドイツ語と日本語で共同主宰 (<http://strahlentelex-fukushima.de>) 著書に、『ドイツ・低線量被曝から28年 - チェルノブイリはおわっていない』、『小さな革命 - 東ドイツ市民の体験』(いずれも言叢社刊)、『きみたちには、起こってしまったことに責任はない でもそれが、もう繰り返されないことには責任があるからね - 「小さな平和」を求めて ポツダム・トルーマンハウスとヒロシマ・ナガサキ広場の記録』(電子書籍) など。ホームページ:ベルリン@対話工房 (<https://taiwakobo.de>)、FB: @berlintaiwakobo、twitter: @berlintaiwakobo、instagram: @berlin_taiwakobo (ナチス強制収容所跡の写真を連載中)

みなさん、こんにちは!ドイツ・ベルリンから話します。10年前、震災と原発事故が起きました。その後、原子力に疑問を持つ市民が増えています。でもそこでは、エネルギーの一つである電気にしか関心が持たれていません。エネルギーは電気だけですか。そうではないと思います。お湯を沸かす時も、移動する時もエネルギーが必要です。エネルギーは人類にとって、なくてはならないものです。人類はエネルギーとともに、進歩、発展してきました。でも人類は今、エネルギーを使うことで気候変動の問題に直面しています。窒息しそうな状態です。この問題を解決するには、どうすればいいのでしょうか。人類は産業革命とともに石炭や石油などの化石燃料を使うことを学び、それによって地球を汚染してきました。今、そういう時代が終わろうとしているのです。エネルギーをいつまでも使っても、人類が地球上に生きていけるように、社会を変えていかなければなりません。そのためには、時間がかかります。早く取り組まないことには、手遅れになってしまいます。手遅れにならないようにするには、ぼくたちは何をすべきなのでしょう。まず、エネルギーとはどういうものなのか、よく知ってほしいと思います。エネルギーは生活においてどのように使っていくべきなのか、知ってもらいたいと思います。今回の話が、エネルギーについて考えるきっかけになればと思います。

日時: 2021年3月28日(日) 15:30~(GER8:30~)

※日曜日は予定がつかず、再放送希望の方は、コメント欄に「土曜日に録画視聴を希望します」と申込み下さい。翌週土曜15:30~対応します。

場所: みなさんの自宅 ※ 高校生→無料 お友達を誘ってね!
社会人→500円~ドネーションチケットあり

申込先: <https://earthwalkers.jp/>



QRコードから申込

主催: NPO法人アースウォーカーズ 担当: 090-8301-1123(小玉)